

グループ保険（団体定期保険）のご案内

死亡・所定の高度障害状態に備える生命保険です。

この機会にぜひ加入（増額）をご検討ください。

グループ保険の特長



1 保険料がお手頃です!

スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で、保障が準備できます。

2 申込み手続きが簡単です!

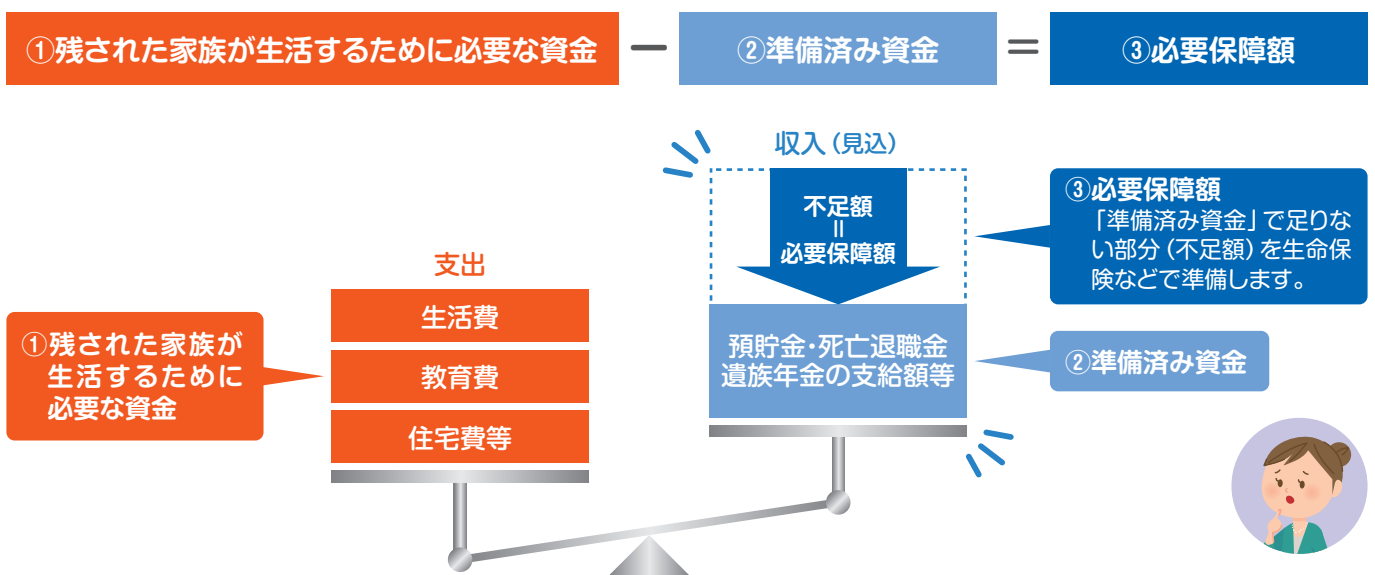
簡単な告知のみで、医師の診査は必要ありません。
健康状態によっては、加入（増額）できない場合があります。

3 ライフステージの変化に合わせて、毎年保障金額を見直す機会があります!

4 剰余金が生じた場合は、配当金が支払われ 実質の負担額が軽減されます!

将来お支払いする配当金は変動し、0（ゼロ）となる可能性もあります。

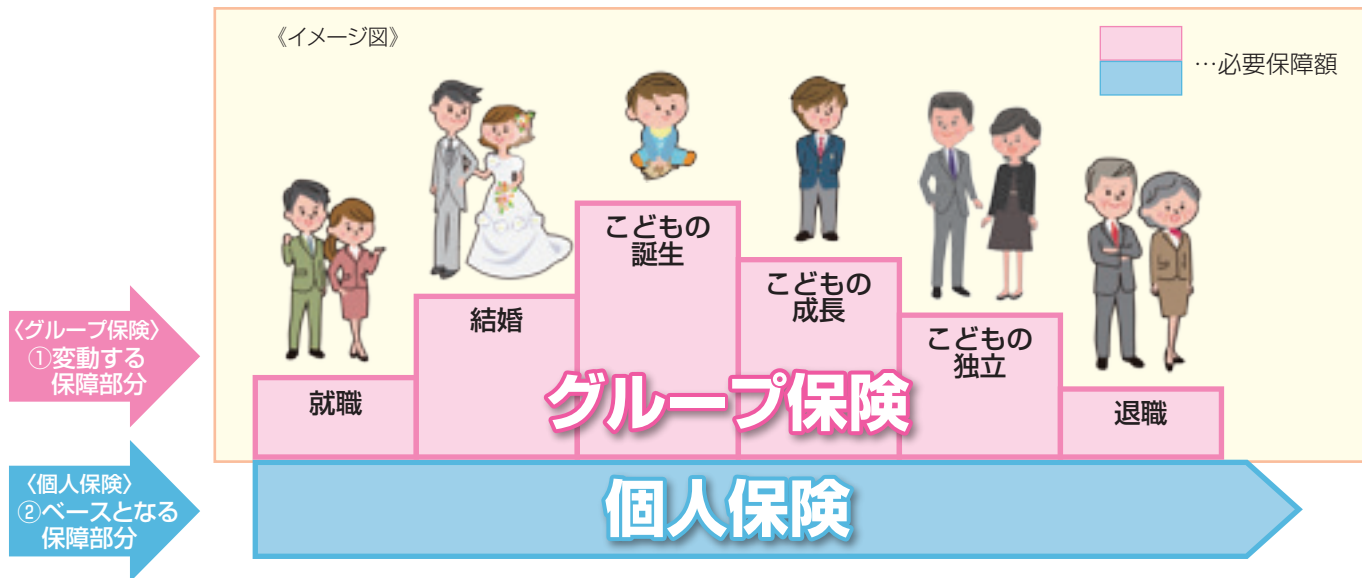
「万一（死亡）」の場合の必要保障額については、
このように考えてみてはいかがでしょうか。



※この他、想定していなかった出費に備え、予備費を準備することも考えられます。

あなたが「万一（死亡）」の場合に、困る人がいます

必要保障額は、ライフステージの変化に応じて毎年変動します。
グループ保険を上手に活用して、必要保障額を準備しましょう。



①変動する保障部分

グループ保険で準備

グループ保険でライフステージとともに変動していく必要保障部分を準備しましょう。
グループ保険は毎年保障金額を見直す機会があります。

②ベースとなる保障部分

個人保険で準備

個人保険で退職後も継続して保障の準備が必要な基本的な死亡保障と医療保障等を準備しましょう。

万一の保障額はどのくらい必要なの？

ご遺族の生活費

現在の生活費の**7割程度**を目安に見積ります(末子独立まで)。
【例】月の生活費が30万円の世帯の場合(1年間の生活費)
 $30万円 \times 70\% \times 12か月 = 252万円$

お子さまがいない方も、残された家族のための保障が必要です。

＼ご自分で準備しましょう！／

葬儀費用合計

平均約**196万円!**

※通夜からの飲食接待費用、寺院の費用、葬儀一式費用の合計額の平均です。
出典：(一財)日本消費者協会 第11回「葬儀についてのアンケート調査」平成29年1月

葬儀も結構お金がかかるね

自分に万一のことがあった時、将来必要になるかもしれない親の介護費用に備えて、保険に加入するのも親孝行だぞ!!

＼これからは介護にお金がかかる時代です。／

親にかかる**介護費用**

一時費用 平均74万円+(毎月かかる費用 平均8.3万円×介護期間 平均61.1か月)

親1人にかかる介護費用の目安 **約581万円**

出典：(公財)生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査<速報版>」令和3年度

なるほど!

この資料は2021年9月時点のグループ保険の概要を記載したものであり、ご契約にかかるすべての事項を記載したものではありません。お申込みにあたっては、所定のパンフレット(「契約概要」、「注意喚起情報」)を必ずお読みください。